

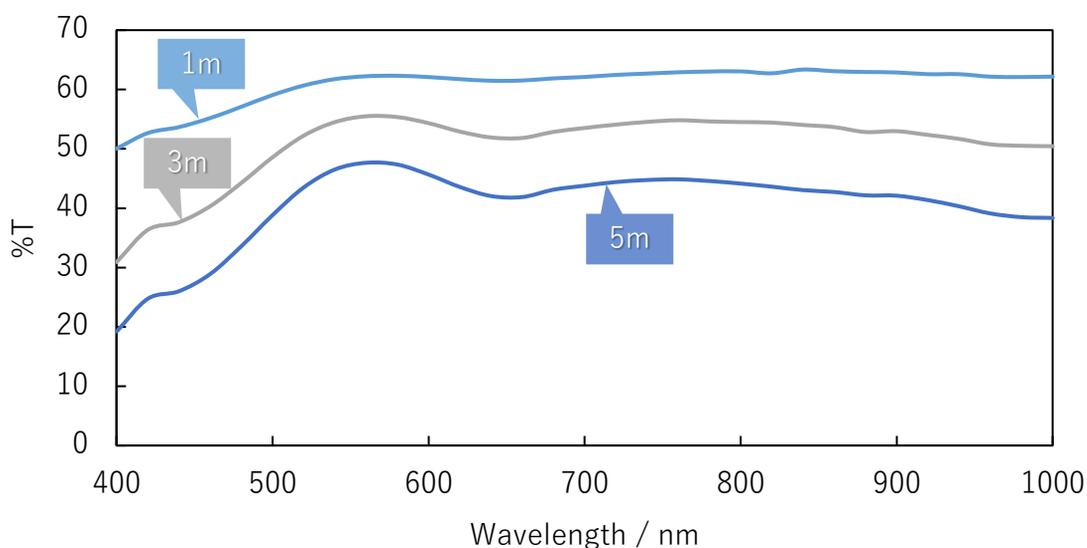


SOG-15は石英ファイバーよりNAが小さいことを特長とする多成分ガラス光ファイバーです。指向性を重視する光センサーなどに適しています。また環境負荷物質を含まず、RoHS指令に対応しており、医療用途でも使用可能です。コア・クラッドともに耐酸性がランク1（JOGIS規格）と、環境耐性に優れたファイバーです。

技術データ		
ファイバータイプ	ステップインデックス型マルチモードファイバー	
開口数	0.14 @587nm	
開口角	16° @587nm	
伝送損失 *参考値	1.50 dB/m @400nm 0.50 dB/m @550nm	
耐熱性	< 200 °C	
ファイバー外径	30 μm, 50 μm ± 3 μm	
化学的耐久性	コアガラス	クラッドガラス
耐酸性	1	1
耐水性	2	2

* JOGIS規格のランクで表記

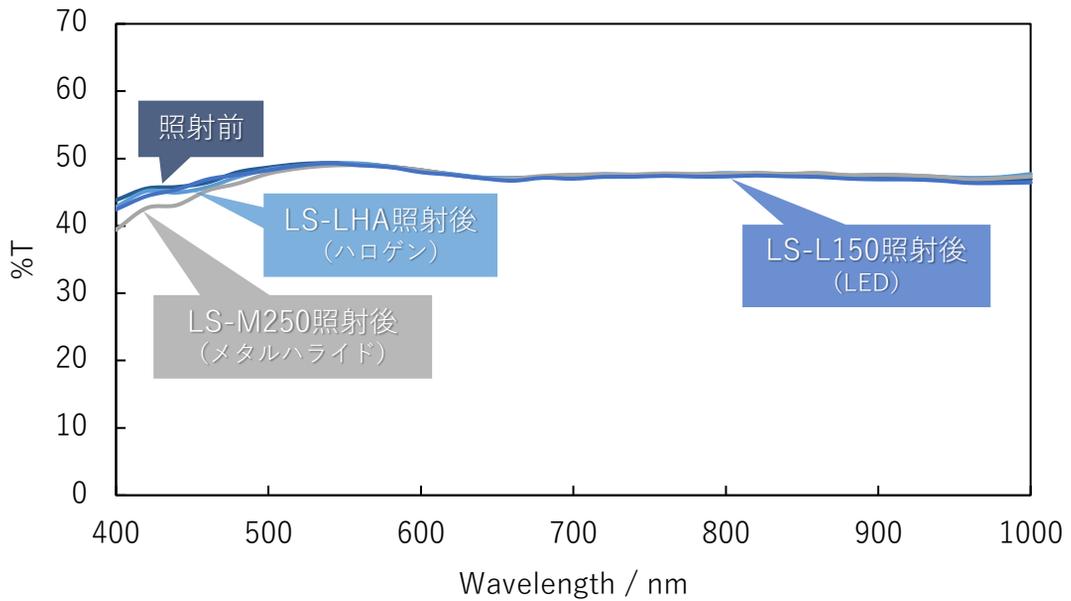
ライトガイドの透過率



測定条件

バンドル径 φ5mmのライトガイド(素線径：50 μm)を使用

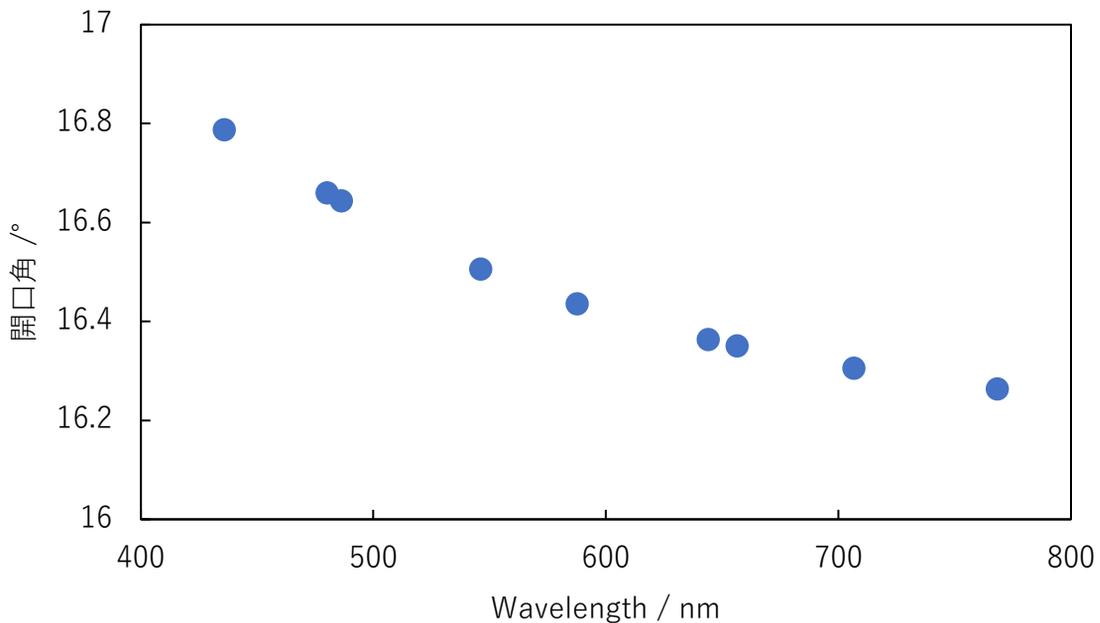
ソラリゼーション耐性



測定条件

ハロゲンランプ (LS-LHA) ・メタルハイドランプ (LS-M250/400nmカットロングパスフィルター) ・白色LED (LS-L150) からの光をバンドル径 ϕ 5mm \times L1000mmのライトガイドに300時間照射し、前後の透過率を比較。

開口角の波長依存性 (屈折率からの計算値)



測定条件

開口角はガラスの波長分散に応じ、波長に依存して変化します。
ここでは、ガラスの屈折率から算出した開口角を波長ごとにプロットしています。